

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年7月21日

上場会社名 株式会社アトム

（コード番号：7412 東証第2部・名証第2部）

（URL <http://www.atom-corp.co.jp/ja/index.html>）

本社所在都道府県 愛知県

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 植田 剛史

責任者役職・氏名 取締役 野原 滋公

TEL：(052) 249-5225

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
- 1 有価証券の時価評価は中間期・期末のみに行っております。
- 2 その他影響が軽微なものについて一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（1）経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第1四半期	5,378 △16.2	212 —	230 —	224 —
18年3月期第1四半期	6,417 △2.9	— —	— —	— —
（参考）18年3月期	24,254	626	742	△8,336

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	10 12	6 84
18年3月期第1四半期	— —	— —
（参考）18年3月期	△460 14	— —

（注）平成18年3月期第1四半期においては、四半期経営成績の開示を行っていないため売上高以外については記載しておりません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

〔経営成績の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に国内景気は回復基調にあるものの、原油高、原材料価格の高騰等の不安材料を抱えたまま推移いたしました。

当社におきましては、鮮魚、牛肉を始めとした原材料価格の高騰、同業他社との競争激化等の厳しい経営環境の中、業態変更、老朽化店舗の改装を行い既存店舗の活性化を図ると共に、メニュー改定を中心とした顧客満足度の向上に努めてまいりました。

店舗数につきましては、業態変更を直営店6店舗、FC店1店舗の合計7店舗、閉店をFC店2店舗行い、当第1四半期末の店舗数は、すし部門で直営店76店舗、FC店25店舗の合計101店舗、レストラン部門で直営店94店舗、FC店16店舗の合計110店舗、合計で直営店170店舗、FC店41店舗の合計211店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は53億78百万円、経常利益は2億30百万円となりました。また、四半期純利益につきましては、改装及び業態変更による固定資産除却損43百万円が発生したものの、税金費用△37百万円の計上もあり2億24百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月 期 第 1 四 半 期	13,081	2,863	21.9	47 76
18 年 3 月 期 第 1 四 半 期	—	—	—	— —
(参考) 18 年 3 月 期	12,880	2,655	20.6	40 12

(注) 平成 18 年 3 月 期 第 1 四 半 期 においては、四半期財政状態の開示を行っていないため記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期末における総資産は、長期借入金の調達等もあり前事業年度末に比べ 2 億円増加し、1 3 0 億 8 1 百万円となりました。

また、純資産は、主に四半期純利益の計上により前事業年度末に比べ 2 億 8 百万円増加し、2 8 億 6 3 百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べ 1. 3 % 増加し 2 1. 9 % となりました。

○ 添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、部門別販売実績

以 上

[参考]

19 年 3 月 期 の 業 績 予 想 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(百万円未満切捨)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	11,354	733	58
通 期	22,203	1,379	874

(参考) 1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益 (通 期) 39 円 31 銭

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。また、上記予想は株式会社がんこ炎との合併による影響を反映していないものであり、平成 18 年 4 月 28 日に公表しました当初の業績予想と変更はありません。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社を取巻く環境は、原材料費の高騰等、今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、顧客満足度を重視した店舗営業活動による売上高の確保、コスト管理の強化により費用の軽減に努め、当初予定した中間期業績の確保に努める所存であります。

なお、当社は平成 1 8 年 6 月 2 3 日に、平成 1 8 年 1 0 月 1 日を期日として株式会社がんこ炎と合併する旨の基本合意書を締結しております。同社との合併契約締結は平成 1 8 年 7 月下旬、合併契約承認臨時株主総会は平成 1 8 年 8 月下旬を予定しております。当社の通期の見通しにつきましては、合併の影響を反映しておりませんので今後改めて公表いたします。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I. 流動資産					
1. 現金及び預金	2,911	—	—	—	2,693
2. 売掛金	132	—	—	—	140
3. たな卸資産	123	—	—	—	115
4. その他	830	—	—	—	526
流動資産合計	3,997	—	—	—	3,476
II. 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1)建物	3,687	—	—	—	3,763
(2)構築物	544	—	—	—	557
(3)土地	608	—	—	—	608
(4)その他	187	—	—	—	164
有形固定資産合計	5,028	—	—	—	5,093
2. 無形固定資産	120	—	—	—	125
3. 投資その他の資産					
(1)投資有価証券	674	—	—	—	715
(2)敷金保証金	2,944	—	—	—	3,140
(3)その他	305	—	—	—	316
投資その他の資産合計	3,924	—	—	—	4,173
固定資産合計	9,073	—	—	—	9,392
III. 繰延資産	10	—	—	—	12
資産合計	13,081	—	—	—	12,880
(負 債 の 部)					
I. 流動負債					
1. 買掛金	1,542	—	—	—	1,458
2. 1年内償還予定の社債	240	—	—	—	240
3. 短期借入金	—	—	—	—	21
4. 1年内返済予定の長期借入金	1,372	—	—	—	1,407
5. 未払金	1,287	—	—	—	1,475
6. その他	645	—	—	—	683
流動負債合計	5,087	—	—	—	5,285
II. 固定負債					
1. 社債	420	—	—	—	420
2. 転換社債型新株予約権付社債	1,100	—	—	—	1,100
3. 長期借入金	2,618	—	—	—	2,338
4. その他	991	—	—	—	1,081
固定負債合計	5,129	—	—	—	4,939
負債合計	10,217	—	—	—	10,224
(純 資 産 の 部)					
I. 株主資本					
1. 資本金	4,353	—	—	—	4,353
2. 資本剰余金	4,549	—	—	—	4,549
3. 利益剰余金	△6,004	—	—	—	△6,228
4. 自己株式	△176	—	—	—	△176
株主資本合計	2,721	—	—	—	2,496
II. 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	142	—	—	—	158
評価・換算差額等合計	142	—	—	—	158
純資産合計	2,863	—	—	—	2,655
負債及び純資産合計	13,081	—	—	—	12,880

(注) 当期より四半期貸借対照表を作成しているため、前年同四半期及び増減については記載しておりません。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売上高	5,378	—	—	—	24,254
II. 売上原価	2,119	—	—	—	9,640
売上総利益	3,258	—	—	—	14,613
III. 販売費及び一般管理費	3,046	—	—	—	13,987
営業利益	212	—	—	—	626
IV. 営業外収益	85	—	—	—	479
V. 営業外費用	67	—	—	—	362
経常利益	230	—	—	—	742
VI. 特別利益	—	—	—	—	72
VII. 特別損失	43	—	—	—	9,337
税引前四半期純利益又は 税引前当期純損失	187	—	—	—	△8,522
税引費用	△37	—	—	—	△185
四半期純利益又は当期純損失	224	—	—	—	△8,336

(注) 当期より四半期損益計算書を作成しているため、前年同四半期及び増減については記載しておりません。

3. 部門別販売実績

(単位：百万円、%)

部 門	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)		前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
す し 部 門	2,637	49.0	2,758	43.0	10,968	45.2
レストラン部門	2,721	50.6	3,520	54.8	12,984	53.5
食 材 部 門	—	—	108	1.7	187	0.8
そ の 他	19	0.4	31	0.5	114	0.5
合 計	5,378	100.0	6,417	100.0	24,254	100.0